

令和6年度 かほく市立宇ノ気中学校 学校評価計画

令和6年4月

◎A回答…より肯定的回答 ○A+B回答…肯定的回答

重点事項	具体的取組	主担当	現 状	評 価 の 観 点 【 】生徒、保護者、教職員アンケート	達成度判断基準 (A回答・A+B回答)	判定基準	備 考 (R5最終結果)
1 学力向上に向けた計画的実践	(1)学力向上に向けた授業改善等	研究主任	「授業がわかりやすい」の肯定回答が高いが学力向上に直結していない。生徒が学びたいという課題の設定、自分の意見を持つことができる教師側の支援を行っていく。	【生】授業がわかりやすい。 【保】学校は、分かりやすい授業や学力向上（学習内容の定着）に努めている。 【教】活用力（思考力・判断力・表現力）を高める指導を行っている。	A 40%・85%以上 B 35%・80%以上 C 30%・70%以上 D 30%・70%未満	CまたはDの場合、教科部会で再検討	【生】56%・96% 【保】22%・91% 【教】55%・100%
		研究主任	学級経営を充実させ、「自由に発言できる学級の雰囲気」「積極的に発言する意識」に向けて取り組んでいく。	【生】授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたと思う。（R7県目標値：95%） 【生】授業では、自分の考えを積極的に表現している。<カリ・マネの柱>	A 50%・95%以上 B 40%・85%以上 C 30%・75%以上 D 30%・75%未満	CまたはDの場合、研究主任・教科代表者会で再検討	【生】50%・95% 【生】49%・93%
	(2)校内研修の充実	研究主任	今年度の研究の重点や方向性を示し、教科部会の強化、充実を進めていく。	【教】教科部会に意欲的に参加している。 【教】教科部会の内容が充実している。	A 40%・70%以上 B 30%・60%以上 C 20%・50%以上 D 20%・50%未満	CまたはDの場合、研究主任・教科代表者会で再検討	【教】82%・100% 【教】77%・100%
	(3)GIGAスクール構想の推進	GIGA推進リーダー	教育活動すべてにおいて、ICT活用の意識が向上しているが、ねらいを達成させるための効果的な活用に向けて検証していく。	【教】授業中にICTを活用して指導することができた。（R7県目標値：100%）	A 40%・70%以上 B 30%・60%以上 C 20%・50%以上 D 20%・50%未満	CまたはDの場合、管理職・GIGA推進リーダー・研究主任で再検討	【教】64%・100%
	(4)学力向上ロードマップに基づく取組の推進	主幹教諭 研究主任	学力向上プランに基づいた指導を意識できるようになってきた。金沢教育事務所の重点事項を踏まえた授業実践に取り組んでいく。	向上プラン」に基づく指導を行っている。 【教】「まとめ・ふりかえり」、「適用・活用」を意識した授業実践に努めている。	A 60%・90%以上 B 50%・80%以上 C 40%・70%以上 D 40%・70%未満	CまたはDの場合、研究主任・教科代表者会で再検討	【教】50%・100% 【教】59%・100%
研究主任		ネットルールの意識化と家庭学習を絡めて指導する必要がある。	【生】自分で計画を立てて勉強している。（R7県目標値：75%）	A 40%・90%以上 B 30%・80%以上 C 20%・70%以上 D 20%・70%未満	CまたはDの場合、主任会で再検討	【生】31%・78%	

令和6年度 かほく市立宇ノ気中学校 学校評価計画

令和6年4月

◎A回答…より肯定的回答 ○A+B回答…肯定的回答

重点事項	具体的取組	主担当	現 状	評 価 の 観 点 【 】生徒、保護者、教職員アンケート	達成度判断基準 (A回答・A+B回答)	判定基準	備 考 (R5最終結果)
2 生徒指導の 充実	(1)積極的な生徒指導の推進（認めて、褒めて、伸ばす）	生徒指導主事 生徒活動部	集団の質の向上へ繋げる具体的な取組を実践させる。	【生】自分には、よいところがあると思う。（R7県目標値：80%）	A 40%・85%以上 B 35%・80%以上 C 30%・70%以上 D 30%・70%未満	CまたはDの場合、生徒指導部会で再検討	【生】40%・84%
	(2)いじめ・不登校への適切な対応	生徒指導主事 生徒活動部	毎月の定期相談やいじめ調査、i-checkなどの取組を通して、生徒理解に努める。「ソレイユ」（校内教育支援センター）を全教職員で共通理解し運用	【生】学校へ行くのが楽しい。  【生】いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。	A 60%・95%以上 B 50%・90%以上 C 40%・85%以上 D 40%・85%未満	CまたはDの場合、生徒指導部会で再検討	【生】58%・93%  【生】94%・99%
		生徒指導主事 生徒活動部	学校の取組を具体的かつ積極的に発信していく。	【保】学校における、いじめの未然防止や早期発見のための取組が伝わってくる。	A 40%・85%以上 B 30%・80%以上 C 20%・70%以上 D 20%・70%未満	CまたはDの場合、生徒指導部会で再検討	【保】21%・81%
	(3)基本的な生活習慣を高める指導の徹底  「時を守り、場を清め、礼を正す」	生徒指導主事 生徒活動部	★時を守る (生徒・教職員の意識をもう一段引き上げる。)	【生】時間を守って行動し、良い態度で学校生活を送っている。  【生】かほく市ネットルールを心がけて	A 70%・95%以上 B 60%・90%以上 C 50%・85%以上 D 50%・85%未満	CまたはDの場合、生徒指導部会で再検討	【生】50%・94%  【生】37%・80%
		生徒指導主事 清掃担当 生徒活動部	★場を清める (清掃に関する生徒・教師間の意識格差が大きく、黙働清掃について再度共通理解をし進めていく。)	【生】黙働清掃ができています。  【教】生徒は、黙働清掃ができています。	A 50%・90%以上 B 40%・80%以上 C 30%・70%以上 D 30%・70%未満	CまたはDの場合、生徒指導部会で再検討	【生】54%・91%  【教】23%・87%
		生徒指導主事 生徒活動部	★礼を正す (あいさつ日本一への意識は徐々に高まってきた。場に応じた挨拶ができるよう意識を高めていく。)	【生】学校でしっかりとあいさつや会釈ができています。  【保】わが子は家庭であいさつをしている。  【教】生徒は、学校でしっかりとあいさつ	A 50%・90%以上 B 40%・80%以上 C 30%・70%以上 D 30%・70%未満	CまたはDの場合、生徒指導部会で再検討	【生】80%・99%  【保】58%・94%  【教】55%・100%
	(4)教育相談の充実	主幹教諭 教育相談	毎月1回の定期相談の実施、担任以外の先生との定期相談を実施していく。困ったことがあったら、大人は助けられるという信頼関係を構築する。	【生】自分が困ったときに、悩みを聞いてくれたり、相談したりできる先生がいる。  【保】学校は生徒理解に努め、一人一人に応じたきめ細かな指導に努めている。	A 40%・90%以上 B 35%・85%以上 C 30%・80%以上 D 30%・80%未満	CまたはDの場合、生徒指導部会及び教育相談部会で再検討	【生】46%・80%  【保】18%・82%

令和6年度 かほく市立宇ノ気中学校 学校評価計画

令和6年4月

◎A回答…より肯定的回答 ○A+B回答…肯定的回答

	重点事項	具体的取組	主担当	現 状	評 価 の 観 点 【 】生徒、保護者、教職員アンケート	達成度判断基準 (A回答・A+B回答)	判定基準	備 考 (R5最終結果)
3	信頼される学校づくり	(1)コミュニティ・スクールの推進	教頭 主幹教諭 コーディネーター	地域人材の教育効果は大きいと感じており、今年度においても地域の教育力の活用を進める。 今年度は防災教育の実践、防災意識の向上を目的として、防災訓練や防災講座、防災マップ作りや学校・学年だより等で学校の指導方針や生徒の様子を発信していく。(現在1日約2,000アクセス)	【教】学校は、地域の外部人材等を積極的に活用している。	A 50%・80%以上 B 40%・70%以上 C 30%・60%以上 D 30%・60%未満	CまたはDの場合、管理職・主幹教諭・コーディネーターで再検討	【教】82%・100%
		(2)積極的な情報発信と学校公開	教頭 主幹教諭	小中9年間で子ども達を育てる意識を持ち、ニーズに合った研修を計画する。	【保】学校だよりや学年だより、ホームページ等で学校の指導方針や子どもたちの様子が分かりやすく伝わってくる。	A 40%・90%以上 B 35%・80%以上 C 30%・70%以上 D 30%・70%未満	CまたはDの場合、管理職・主幹教諭で再検討	【保】29%・94%
		(3)小中・中中連携の推進	教頭 主幹教諭	今年度は、学年会を中心とした若プロを実施し、人材育成を計画的に進めていく。	【保】学校を信頼して子どもを預けている。 【教】学校は、小中連携を積極的に進めている。	A 60%・90%以上 B 50%・80%以上 C 40%・70%以上 D 40%・70%未満	CまたはDの場合、管理職・主幹教諭で再検討	【保】40%・94% 【教】55%・96%
4	教員の人材育成	(1)若プロの計画的実践	主幹教諭	今年度は、学年会を中心とした若プロを実施し、人材育成を計画的に進めていく。	【教】メンター・若手との定期懇談を充実したものにできた。(学期に1回実施)	A 60%・80%以上 B 50%・70%以上 C 40%・60%以上 D 40%・60%未満	CまたはDの場合、管理職・主幹教諭で再検討	【教】77%・100%
		(2)ミドルリーダーの育成(組織力の強化)	教頭 主幹教諭	計画的実践と結果の分析・検証を大切に取り組ませる。	【教】様々な取組について、教職員間の共通理解が図られていた。	A 50%・70%以上 B 40%・60%以上 C 30%・50%以上 D 30%・50%未満	CまたはDの場合、管理職・主幹教諭で再検討	【教】77%・100%
5	教職員多忙化改善に向けた取組の推進	(1)業務の効率化を図るための取組の推進	教頭 主幹教諭	業務改善の意識は高まっている。部活動の休養日を1日追加し、検証をしていく。	【教】最終退校時間や定時退校日を意識して業務を進めるなど、「働き方改革」の推進に努めている。	A 50%・90%以上 B 40%・80%以上 C 30%・70%以上 D 30%・70%未満	CまたはDの場合、管理職・主幹教諭で再検討	【教】73%・91%
		(2)部活動練習等の効率化	教頭 主幹教諭 部活動担当	「部活動を通してよりよい人間」になることを目的として、効率的な練習を実施していく。	【教】部活動の練習時間について、常に効率化を考えて取り組んでいる。	A 50%・90%以上 B 45%・85%以上 C 40%・80%以上 D 40%・80%未満	CまたはDの場合、管理職・主幹教諭・部活動担当で再検討	【教】73%・100%

令和5年度 かほく市立宇ノ気中学校 学校評価計画

令和5年4月

◎1回答…より肯定的回答 ○1+2回答…肯定的回答

重点事項	具体的取組	主担当	現 状	評 価 の 観 点 【 】生徒、保護者、教職員アンケート	達成度判断基準 (1回答・1+2回答)	判定基準	備 考 (R4最終結果)
1 学力向上に向けた計画的実践	(1)学力向上に向けた授業改善等	研究主任	「授業がわかりやすい」の肯定回答が高いが学力向上に直結していない。授業のまとめに「活用問題」を取り入れアウトプットさせる機会を設けていく。	【生】授業がわかりやすい。 【保】学校は、分かりやすい授業や学力向上（学習内容の定着）に努めている。 【教】活用力（思考力・判断力・表現力）を高める指導を行っている。	A 40%・85%以上 B 35%・80%以上 C 30%・70%以上 D 30%・70%未満	CまたはDの場合、教科部会で再検討	【生】55%・99% 【保】28%・93% 【教】68%・100%
		研究主任	教科における「めざす生徒像」の意識、自由に発言できる学級の雰囲気づくり等に取り組んでいく。	【生】授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたと思う。（R7県目標値：95%） 【生】授業では、自分の考えを積極的に表現している。<カリ・マネの柱>	A 50%・95%以上 B 40%・85%以上 C 30%・75%以上 D 30%・75%未満	CまたはDの場合、研究主任・教科代表者会で再検討	【生】53%・96% 【生】52%・91%
	(2)校内研修の充実	研究主任	学校研究の柱が浸透され、教科部会の強化が学力向上の基盤であることが共通理解されている。	【教】教科部会に意欲的に参加している。 【教】教科部会の内容が充実している。	A 40%・70%以上 B 30%・60%以上 C 20%・50%以上 D 20%・50%未満	CまたはDの場合、研究主任・教科代表者会で再検討	【教】68%・100% 【教】68%・100%
	(3)GIGAスクール構想の推進	GIGA推進リーダー	教育活動すべてにおいて、ICT活用の意識が向上している。ねらいを達成させるための効果的な活用に向けて検証していく。	【教】授業中にICTを活用して指導することができた。（R7県目標値：100%）	A 40%・70%以上 B 30%・60%以上 C 20%・50%以上 D 20%・50%未満	CまたはDの場合、管理職・GIGA推進リーダー・研究主任で再検討	【教】50%・100%
	(4)学力向上ロードマップに基づく取組の推進	主幹教諭 研究主任	学力向上プランに基づいた指導を意識できるようになってきた。今年度も金沢教育事務所の重点事項を踏まえた授業実践に取り組んでいきたい。	【教】字力調査の結果を分析し、「字力向上プラン」に基づく指導を行っている。 【教】「まとめ・ふりかえり」、「適用・活用」を意識した授業実践に努めている。	A 60%・90%以上 B 50%・80%以上 C 40%・70%以上 D 40%・70%未満	CまたはDの場合、研究主任・教科代表者会で再検討	【教】40%・100% 【教】59%・95%
		研究主任	家庭の協力も得ながら粘り強く取組を進めていきたい。タブレットの持ち帰りについて共通理解が必要である。	【生】自分で計画を立てて勉強している。（R7県目標値：75%）	A 40%・90%以上 B 30%・80%以上 C 20%・70%以上 D 20%・70%未満	CまたはDの場合、主任会で再検討	【生】38%・81%

令和5年度 かほく市立宇ノ気中学校 学校評価計画

令和5年4月

◎1回答…より肯定的回答 ○1+2回答…肯定的回答

重点事項	具体的取組	主担当	現 状	評 価 の 観 点 【 】生徒、保護者、教職員アンケート	達成度判断基準 (1回答・1+2回答)	判定基準	備 考 (R4最終結果)
2 生徒指導の 充実	(1)積極的な生徒指導の推進（認めて、褒めて、伸ばす）	生徒指導主事 生徒活動部	昨年度に引き続き、自己肯定感が高まるような積極的な生徒指導を進めていきたい。	【生】自分には、よいところがあると思う。（R7県目標値：80%）	A 40%・85%以上 B 35%・80%以上 C 30%・70%以上 D 30%・70%未満	CまたはDの場合、生徒指導部会で再検討	【生】39%・85%
	(2)いじめ・不登校への適切な対応	生徒指導主事 生徒活動部	深刻ないじめは見られないものの、未然防止について重点的に取り組む必要がある。	【生】学校へ行くのが楽しい。 【生】いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。	A 60%・95%以上 B 50%・90%以上 C 40%・85%以上 D 40%・85%未満	CまたはDの場合、生徒指導部会で再検討	【生】54%・94% 【生】95%・99%
		生徒指導主事 生徒活動部	昨年度に引き続き、学校の取組を積極的に発信していきたい。	【保】学校における、いじめの未然防止や早期発見のための取組が伝わってくる。	A 40%・85%以上 B 30%・80%以上 C 20%・70%以上 D 20%・70%未満	CまたはDの場合、生徒指導部会で再検討	【保】24%・83%
	(3)基本的な生活習慣を高める指導の徹底 「時を守り、場を清め、礼を正す」	生徒指導主事 生徒活動部	★時を守る (生徒・教職員の意識をもう一段引き上げたい。)	【生】時間を守って行動し、良い態度で学校生活を送っている。 【生】かほく市ネットルールを心がけている。	A 70%・95%以上 B 60%・90%以上 C 50%・85%以上 D 50%・85%未満	CまたはDの場合、生徒指導部会で再検討	【生】45%・93% 【生】36%・77%
		生徒指導主事 清掃担当 生徒活動部	★場を清める (清掃に関する生徒・教師間の意識格差が大きい。)	【生】黙勤清掃ができています。 【教】生徒は、黙勤清掃ができています。	A 50%・90%以上 B 40%・80%以上 C 30%・70%以上 D 30%・70%未満	CまたはDの場合、生徒指導部会で再検討	【生】62%・95% 【教】41%・95%
		生徒指導主事 生徒活動部	★礼を正す (あいさつ日本一への意識は徐々に高まってきた。今後、地域でのあいさつにも力を注ぎたい。)	【生】学校でしっかりとあいさつや会釈ができています。 【保】わが子は家庭であいさつをしている。 【教】生徒は、学校でしっかりとあいさつ	A 50%・90%以上 B 40%・80%以上 C 30%・70%以上 D 30%・70%未満	CまたはDの場合、生徒指導部会で再検討	【生】79%・99% 【保】61%・93% 【教】55%・100%
	(4)教育相談の充実	主幹教諭 教育相談	多くの生徒たちは、相談できる先生がいると回答している。学級担任だけでなく、養護教諭、教育相談員など相談したら大人は助けてくれるという信頼関係	【生】自分が困ったときに、悩みを聞いてくれたり、相談したりできる先生がいる。 【保】学校は生徒理解に努め、一人一人に応じたきめ細かな指導に努めている。	A 40%・90%以上 B 35%・85%以上 C 30%・80%以上 D 30%・80%未満	CまたはDの場合、生徒指導部会及び教育相談部会で再検討	【生】46%・82% 【保】21%・86%

令和5年度 かほく市立宇ノ気中学校 学校評価計画

令和5年4月

◎1回答…より肯定的回答 ○1+2回答…肯定的回答

	重点事項	具体的取組	主担当	現 状	評 価 の 観 点 【 】生徒、保護者、教職員アンケート	達成度判断基準 (1回答・1+2回答)	判定基準	備 考 (R4最終結果)
3	信頼される学校づくり	(1)コミュニティ・スクールの推進	教頭 主幹教諭 コーディネーター	地域人材の教育効果は大きいと感じており、昨年度以上に地域の教育力の活用を進める必要がある。	【教】学校は、地域の外部人材等を積極的に活用している。	A 50%・80%以上 B 40%・70%以上 C 30%・60%以上 D 30%・60%未満	CまたはDの場合、管理職・主幹教諭・コーディネーターで再検討	【教】73%・96%
		(2)積極的な情報発信と学校公開	教頭 主幹教諭	引き続き、ホームページや学校・学年だより等で学校の指導方針や生徒の様子を発信していく。	【保】学校だよりや学年だより、ホームページ等で学校の指導方針や子どもたちの様子が分かりやすく伝わってくる。	A 40%・90%以上 B 35%・80%以上 C 30%・70%以上 D 30%・70%未満	CまたはDの場合、管理職・主幹教諭で再検討	【保】30%・92%
		(3)小中・中中連携の推進	教頭 主幹教諭	保護者からの信頼は高い状況が続いている。丁寧できめ細かな対応を心がける。	【保】学校を信頼して子どもを預けている。 【教】学校は、小中連携を積極的に進めている。	A 60%・90%以上 B 50%・80%以上 C 40%・70%以上 D 40%・70%未満	CまたはDの場合、管理職・主幹教諭で再検討	【保】47%・94% 【教】41%・100%
4	教員の人材育成	(1)若プロの計画的実践	主幹教諭	4月当初より、全職員を巻き込んだ若プロを継続させ、人材育成を計画的に進めている。	【教】メンター・若手との定期懇談を充実したものにできた。(学期に1回実施)	A 60%・80%以上 B 50%・70%以上 C 40%・60%以上 D 40%・60%未満	CまたはDの場合、管理職・主幹教諭で再検討	【教】55%・96%
		(2)ミドルリーダーの育成(組織力の強化)	教頭 主幹教諭	様々な指導機会を通して、教職員の共通理解・共通実践は高まっている。	【教】様々な取組について、教職員間の共通理解が図られていた。	A 50%・70%以上 B 40%・60%以上 C 30%・50%以上 D 30%・50%未満	CまたはDの場合、管理職・主幹教諭で再検討	【教】46%・100%
5	教職員多忙化改善に向けた取組の推進	(1)業務の効率化を図るための取組の推進	教頭 主幹教諭	業務改善の意識は高まっている。時間外勤務時間以上に業務の内容を精選していきたい。	【教】最終退校時間や定時退校日を意識して業務を進めるなど、「働き方改革」の推進に努めている。	A 50%・90%以上 B 40%・80%以上 C 30%・70%以上 D 30%・70%未満	CまたはDの場合、管理職・主幹教諭で再検討	【教】46%・82%
		(2)部活動練習等の効率化	教頭 主幹教諭 部活動担当	昨年度に引き続き、練習の効率化、複数名での指導等、工夫をしていきたい。	【教】部活動の練習時間について、常に効率化を考えて取り組んでいる。	A 50%・90%以上 B 45%・85%以上 C 40%・80%以上 D 40%・80%未満	CまたはDの場合、管理職・主幹教諭・部活動担当で再検討	【教】59%・100%

令和4年度 かほく市立宇ノ気中学校 学校評価計画

令和4年4月

◎1回答…より肯定的回答 ○1+2回答…肯定的回答

重点事項	具体的取組	主担当	現 状	評 価 の 観 点 【 】生徒、保護者、教職員アンケート	達成度判断基準 (1回答・1+2回答)	判定基準	備 考 (R3最終結果)
1 学力向上に向けた計画的実践	(1)学力向上に向けた授業改善等	研究主任	◎新学力向上プランに基づく確実な実践に結びつけたい。共通理解・共通実践を適宜図っていききたい。	【生】授業がわかりやすい。 【保】学校は、分かりやすい授業や学力向上（学習内容の定着）に努めている。 【教】活用力（思考力・判断力・表現力）を高める指導を行っている。	A 40%・85%以上 B 35%・80%以上 C 30%・70%以上 D 30%・70%未満	CまたはDの場合、教科部会で再検討	【生】53%・97% 【保】29%・95% 【教】32%・95%
		研究主任	◎学習指導要領全面実施2年目を迎え、引き続き授業改善に取り組みたい。	【生】授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたと思う。（R7県目標値：95%） 【生】授業では、自分の考えを積極的に表現している。<カリ・マネの柱>	A 50%・95%以上 B 40%・85%以上 C 30%・75%以上 D 30%・75%未満	CまたはDの場合、研究主任・教科代表者会で再検討	【生】42%・93% 【生】33%・84%
	(2)校内研修の充実	研究主任	◎教科部会の強化が、学力向上の基盤である。ことを教職員に浸透させる必要がある。	【教】教科部会に意欲的に参加している。 【教】教科部会の内容が充実している。	A 40%・70%以上 B 30%・60%以上 C 20%・50%以上 D 20%・50%未満	CまたはDの場合、研究主任・教科代表者会で再検討	【教】59%・77% 【教】32%・68%
	(3)GIGAスクール構想の推進	GIGA推進リーダー	◎ICTを学びのツールとして活用していくことが望まれる。導入期から活用期への意識を高めたい。	【教】授業中にICTを活用して指導することができた。（R7県目標値：100%）	A 40%・70%以上 B 30%・60%以上 C 20%・50%以上 D 20%・50%未満	CまたはDの場合、管理職・GIGA推進リーダー・研究主任で再検討	【教】36%・86%
	(4)学力向上ロードマップに基づく取組の推進	主幹教諭 研究主任	◎金沢教育事務所の重点事項を踏まえた授業実践に取り組む必要がある。	【教】学力調査の結果を分析し、「学力向上プラン」に基づく指導を行っている。 【教】「まとめ・ふりかえり」、「適用・活用」を意識した授業実践に努めている。	A 60%・90%以上 B 50%・80%以上 C 40%・70%以上 D 40%・70%未満	CまたはDの場合、研究主任・教科代表者会で再検討	【教】27%・82% 【教】41%・91%
		研究主任	◎ネットルールの意識化と家庭学習を絡めて指導する必要がある。	【生】自分で計画を立てて勉強している。（R7県目標値：75%）	A 40%・90%以上 B 30%・80%以上 C 20%・70%以上 D 20%・70%未満	CまたはDの場合、主任会で再検討	【生】33%・81%

令和4年度 かほく市立宇ノ気中学校 学校評価計画

令和4年4月

◎1回答…より肯定的回答 ○1+2回答…肯定的回答

重点事項	具体的取組	主担当	現 状	評 価 の 観 点 【 】生徒、保護者、教職員アンケート	達成度判断基準 (1回答・1+2回答)	判定基準	備 考 (R3最終結果)
2 生徒指導の 充実	(1)積極的な生徒指導の推進（認めて、褒めて、伸ばす）	生徒指導主事 生徒活動部	◎自己肯定感の低い生徒が多い傾向にある。	【生】自分には、よいところがあると思う。（R7県目標値：80%）	A 40%・85%以上 B 35%・80%以上 C 30%・70%以上 D 30%・70%未満	CまたはDの場合、生徒指導部会で再検討	【生】36%・82%
	(2)いじめ・不登校への適切な対応	生徒指導主事 生徒活動部	◎深刻ないじめは見られないものの、未然防止には重点的に取り組む必要がある。	【生】学校へ行くのが楽しい。 【生】いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。	A 60%・95%以上 B 50%・90%以上 C 40%・85%以上 D 40%・85%未満	CまたはDの場合、生徒指導部会で再検討	【生】54%・93% 【生】95%・99%
		生徒指導主事 生徒活動部	◎学校の取組が保護者には十分届いていない。	【保】学校における、いじめの未然防止や早期発見のための取組が伝わってくる。	A 40%・85%以上 B 30%・80%以上 C 20%・70%以上 D 20%・70%未満	CまたはDの場合、生徒指導部会で再検討	【保】23%・79%
	(3)基本的な生活習慣を高める指導の徹底 「時を守り、場を清め、礼を正す」	生徒指導主事 生徒活動部	◎時を守る（生徒・教職員の意識をもう一段引き上げたい。）	【生】時間を守って行動し、良い態度で学校生活を送っている。 【生】かほく市ネットルールを心がけている。	A 70%・95%以上 B 60%・90%以上 C 50%・85%以上 D 50%・85%未満	CまたはDの場合、生徒指導部会で再検討	【生】67%・94% 【生】36%・76%
		生徒指導主事 清掃担当 生徒活動部	◎場を清める（清掃に関する生徒・教師間の意識格差が大きい。）	【生】黙勤清掃ができています。 【教】生徒は、黙勤清掃ができています。	A 50%・90%以上 B 40%・80%以上 C 30%・70%以上 D 30%・70%未満	CまたはDの場合、生徒指導部会で再検討	【生】64%・97% 【教】23%・68%
		生徒指導主事 生徒活動部	◎礼を正す（あいさつ日本一への意識は徐々に高まってきた。今後、地域でのあいさつにも力を注ぎたい。）	【生】学校でしっかりとあいさつや挨拶ができています。 【保】わが子は家庭であいさつをしている。 【教】生徒は、学校でしっかりとあいさつや挨拶をしている。	A 50%・90%以上 B 40%・80%以上 C 30%・70%以上 D 30%・70%未満	CまたはDの場合、生徒指導部会で再検討	【生】76%・97% 【保】60%・96% 【教】55%・91%
	(4)教育相談の充実	主幹教諭 教育相談	◎多くの生徒たちは、相談できる先生がいると回答している。相談したら先生たちは助けてくれるという信頼関係を構築したい。	【生】自分が困ったときに、悩みを聞いてくれたり、相談したりできる先生がいる。 【保】学校は生徒理解に努め、一人一人に応じたきめ細かな指導に努めている。	A 40%・90%以上 B 35%・85%以上 C 30%・80%以上 D 30%・80%未満	CまたはDの場合、生徒指導部会及び教育相談部会で再検討	【生】44%・82% 【保】28%・85%

令和4年度 かほく市立宇ノ気中学校 学校評価計画

令和4年4月

◎1回答…より肯定的回答 ○1+2回答…肯定的回答

	重点事項	具体的取組	主担当	現 状	評 価 の 観 点 【 】生徒、保護者、教職員アンケート	達成度判断基準 (1回答・1+2回答)	判定基準	備 考 (R3最終結果)
3	信頼される学校づくり	(1)コミュニティ・スクールの推進	教頭 主幹教諭 コーディネーター	◎更なる地域の教育力の活用を進める必要がある。ゲストティーチャーを招いた道徳授業を実践したい。	【教】学校は、地域の外部人材等を積極的に活用している。	A 50%・80%以上 B 40%・70%以上 C 30%・60%以上 D 30%・60%未満	CまたはDの場合、管理職・主幹教諭・コーディネーターで再検討	【教】36%・73%
		(2)積極的な情報発信と学校公開	教頭 主幹教諭	◎ホームページの更新を計画的に行う必要がある。(1日平均アクセス数は約1,000件)	【保】学校だよりや学年だより、ホームページ等で学校の指導方針や子どもたちの様子が分かりやすく伝わってくる。	A 40%・90%以上 B 35%・80%以上 C 30%・70%以上 D 30%・70%未満	CまたはDの場合、管理職・主幹教諭で再検討	【保】32%・92%
		(3)小中・中中連携の推進	教頭 主幹教諭	◎新計画に基づいた実効性ある小中連携に取り組む必要がある。(9年間で育てる意識)	【保】学校を信頼して子どもを預けている。 【教】学校は、小中連携を積極的に進めている。	A 60%・90%以上 B 50%・80%以上 C 40%・70%以上 D 40%・70%未満	CまたはDの場合、管理職・主幹教諭で再検討	【保】50%・95% 【教】23%・73%
4	教員の人材育成	(1)若プロの計画的実践	主幹教諭	◎全職員を巻き込んだ若プロを継続させ、人材育成を計画的に進めたい。	【教】メンター・若手との定期懇談を充実したものにできた。(学期に1回実施)	A 60%・80%以上 B 50%・70%以上 C 40%・60%以上 D 40%・60%未満	CまたはDの場合、管理職・主幹教諭で再検討	【教】32%・82%
		(2)ミドルリーダーの育成(組織力の強化)	教頭 主幹教諭	◎計画的実践と結果の分析・検証を大切に取組ませたい。	【教】様々な取組について、教職員間の共通理解が図られていた。	A 50%・70%以上 B 40%・60%以上 C 30%・50%以上 D 30%・50%未満	CまたはDの場合、管理職・主幹教諭で再検討	【教】18%・68%
5	教職員多忙化改善に向けた取組の推進	(1)業務の効率化を図るための取組の推進	教頭 主幹教諭	◎時間外勤務時間が多い状態が続いている。	【教】最終退校時間や定時退校日を意識して業務を進めるなど、「働き方改革」の推進に努めている。	A 50%・90%以上 B 40%・80%以上 C 30%・70%以上 D 30%・70%未満	CまたはDの場合、管理職・主幹教諭で再検討	【教】36%・68%
		(2)部活動練習等の効率化	教頭 主幹教諭 部活動担当	◎教職員の意識改革をさらに進めたい。	【教】部活動の練習時間について、常に効率化を考えて取り組んでいる。	A 50%・90%以上 B 45%・85%以上 C 40%・80%以上 D 40%・80%未満	CまたはDの場合、管理職・主幹教諭・部活動担当で再検討	【教】36%・96%